

薩摩硫黄島の火山活動－2002年6月～2002年10月－*

Volcanic Activity of Satsuma-Iojima Volcano - June 2002 - October 2002 -

福岡管区气象台
鹿児島地方气象台

Fukuoka District Meteorological Observatory, JMA
Kagoshima Local Meteorological Observatory, JMA

1. 活動概要

6月上旬から中旬にかけて火山性地震が多発し、連続的な火山性微動が観測された。また、6月から7月にかけて降灰や有色噴煙が観測されるなど、一時的に火山活動が活発となった。

(1) 遠望観測

三島村役場の遠望観測によると、6月2～5日に島内で降灰があり、6月3～7日、9日、13日、15日、18日、7月12～13日、20～23日、29～31日には灰色の噴煙を上げているのが認められた。噴煙の最高高度は、6月5日の500mであった。第1図に日別噴煙高度と噴火を示す。

(2) 震動観測

A型地震の月回数は6月15回、7月44回、8月35回、9月25回、10月27回であった。第2図にA型地震日別回数と噴火を示す。B型地震は5月14日早朝から多発し、5月28日に最多の967回観測し、6月8日の244回まで消長を繰り返した。B型地震の月回数は5月5,992回、6月1,400回、7月154回、8月106回、9月85回、10月117回であった。第3図にB型地震日別回数と噴火を示す。5月に引き続き6月13日までは、連続した火山性微動が観測された。その後、継続時間が短い微動が6月15日に73回とやや多く発生したが、その他の日は0～10回で経過した。第4図に1分間の平均振幅の推移を、第5図に気象庁観測点の位置を示す。

(3) 上空からの観測

8月8日に海上自衛隊の協力により、ヘリコプターによる上空からの観測を実施した。山頂付近は雲に覆われていたため、火口付近の観測はできず、確認できた範囲では著しい降灰はなく、大きな変化は見られなかった。

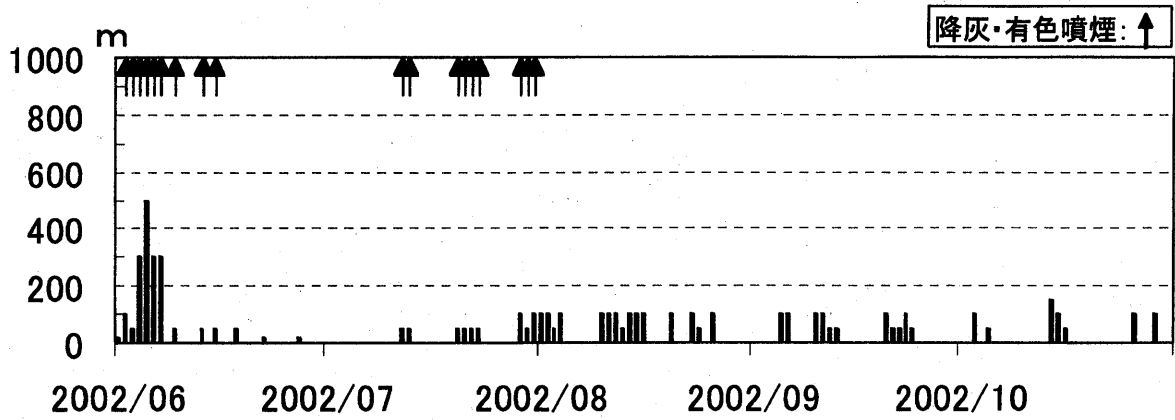
2. 火山情報の発表経過

本期間(2002年6月～10月)、福岡管区气象台と鹿児島地方气象台が連名で発表した火山情報は以下のとおりである。

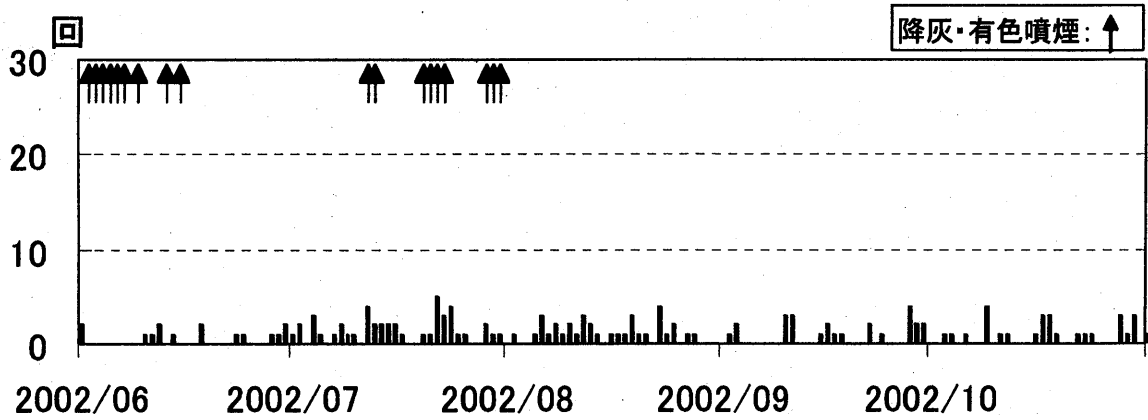
火山観測情報 第4号 2002年6月 6日15時30分発表 火山性微動が続き、間欠的に有色噴煙を噴出

火山観測情報 第5号 2002年6月20日11時15分発表 火山性微動が引き続き発生

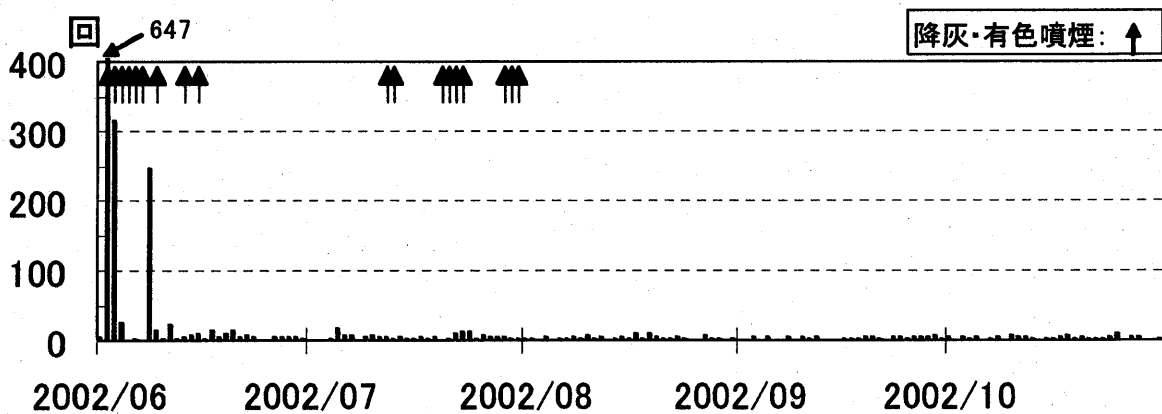
*Received 6 Jan., 2003



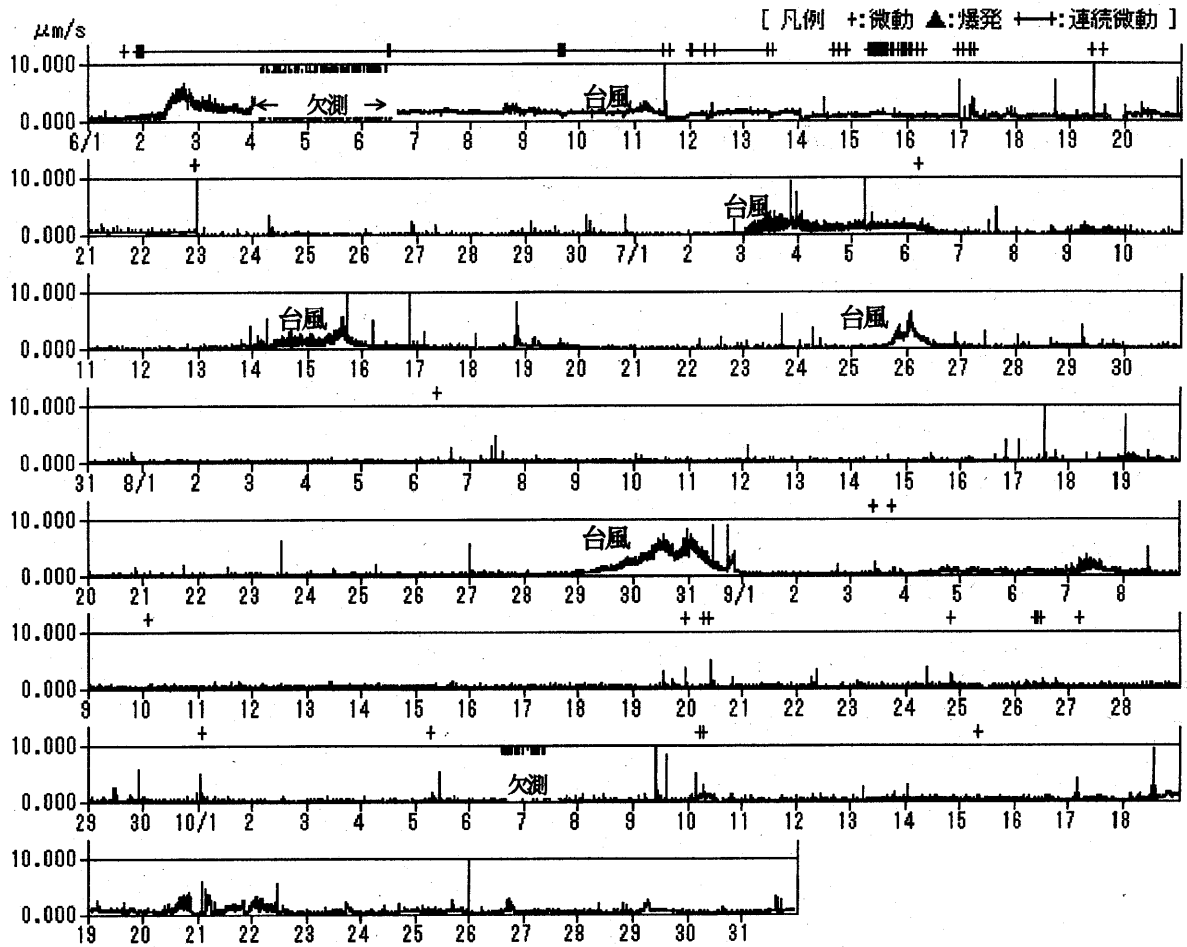
第1図 日別噴煙高度と噴火(2002年6月1日～2002年10月31日)
 Fig.1 Daily height of volcanic plume and eruption (June 1, 2002–Oct. 31, 2002).



第2図 薩摩硫黄島のA型地震日別回数と噴火(2002年6月1日～2002年10月31日)
 Fig.2 Daily frequency of A-type earthquakes and eruption at Satsuma-Iojima volcano
 (June 1, 2002–Oct. 31, 2002).

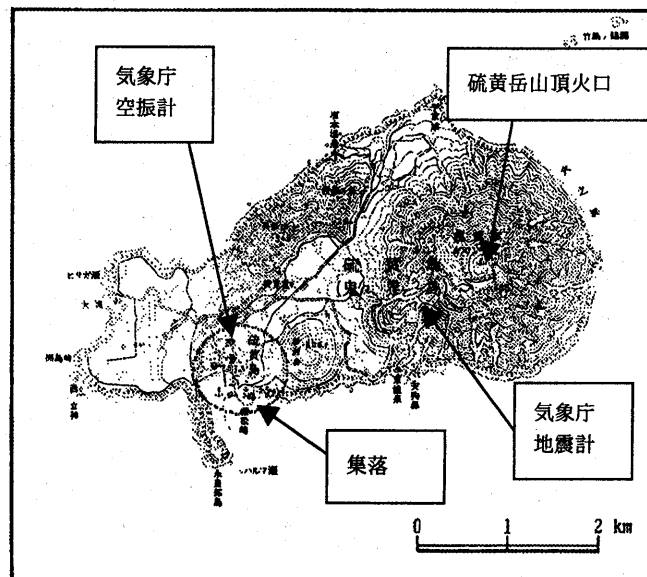


第3図 薩摩硫黄島のB型地震日別回数(2002年6月1日～2002年10月31日)
 Fig.3 Daily frequency of B-type earthquakes and eruption at Satsuma-Iojima volcano
 (June 1, 2002–Oct. 31, 2002).



第4図 1分間平均振幅の推移(2002年6月1日~2002年10月31日)

Fig.4 Transition of mean amplitude for one minute (June 1, 2001–Oct. 31, 2002).



第5図 気象庁観測点の位置

Fig.5 Distribution of seismic and infrasonic station by JMA at Satsuma-Iojima volcano.